

# 2019 年度事業報告

自：2019 年 1 月 1 日 至：2019 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク

## 1. 活動総括

2019 年は SPAN が創立されて 20 周年を迎えました。この 20 年間で、視覚障害者の ICT(情報通信技術)をめぐる環境は劇的に変化しましたが、SPAN はそうした変化に向き合いつつここまで育ってきました。

そして、2019 年度の SPAN の活動も、視覚障害者の就労支援とスマートフォン・タブレット端末の普及活動がメインとなりました。

就労支援関連では、多くの方々からの寄付金による神戸市での 3 回にわたる職業講習を開催しました。

また、東京しごと財団からの委託による在職者訓練を、8 社 8 名に対して行いました。

さらに、9 月からは、訪問型職場適応援助者(ジョブコーチ)による支援を開始し、12 月まで、2 社 2 名に対し、17 回の支援を行いました。

こうした活動により、SPAN は就労支援機関として広く認知されるようになり、それは、8 月に開催された就労支援機関の情報交換会でも、SPAN の遠隔講習やマニュアルなどが話題になったことから明らかとなりました。

スマートフォン・タブレット端末の普及活動としては、日本たばこ産業からの助成金を活用して福島県いわき市と新潟市で、サポーター向け、視覚障害者向けの体験会を開催し、48 名が受講しました。

そして、毎月開催しているタブレットサロンには多くの受講者が参加し、SPAN の活動として広く認知されるようになりました。

視覚障害者向けの講座は、土曜講座 1 回(受講者 4 名)、ワンポイント講座 6 回(受講者 23 名)、個人対象講座 49 回を行いました。さらに、通信アプリ Zoom ミーティングを利用した遠隔講座を 7 回行ったほか、初めての試みとして、日本ライトハウス情報文化センターに集まった受講者 5 名に対して、SPAN の教室から Zoom ミーティングを利用した遠隔講座を行いました。この方式が定着すれば、離れた地域の団体間での講座を実施することがで

きるようになると思います。

ただ、土曜講座の開催回数が予定を下回ったので、来年度は計画的に開催していきたいと思っています。

外部からの委託事業としては、行政・企業・団体からの依頼により 12 件の講習会や研修などを受託しました。特に、企業研修が 5 件あり、これは今後につながると思います。

そのほかの講座では、インストラクター養成講座は、5 回(受講者 22 名)を実施しました。

また、支援を受けている日本ユニシス株式会社からの依頼により、同社の社員に対するワークショップで協力したほか、同社が支援している視覚障害のあるヴァイオリニスト川畠成道氏のコンサートでは、2 回にわたりプログラムの音声読み上げなどのデモで協力しました。また、10 月にはチャリティー販売会に参加して連携を深めました。

外部への情報発信と関係団体との連携では、7 月に盛岡市で開催された視覚障害リハビリテーション研究発表大会において「視覚障害者への在職者訓練実施から見えてきたこと」をテーマにポスター発表を行ったほか、7 月のロービジョンセミナーに出展して SPAN の活動紹介を行いました。

テキスト作成では、Microsoft Teams のマニュアルを制作したほか、タブレット体験会のためのテキストを改訂しました。

一方で、会員向けの活動は SPAN サロンを 1 回開催したにとどまりました。ただ、12 月の忘年会には 21 名が参加して親睦を深めました。

SPAN サロンは計画通りに開催できなかったので、2020 年度は、計画的に開催していきたいと思っています。

広報活動は、前年度に引き続き広報紙を発行して SPAN の活動を内外に発信したほか、ソフトウェア一覧などを Web サイトに掲載して情報を提供しました。

収支面では、赤字幅が前年度より約 64 万円増加しました。要因としては人件費の増加が大きいです。これは、ジョブコーチの助成金が入金されることで改善することが期待されるほか、2020 年度にスタートする資格取得コースを軌道に乗せて改善させたいと考えています。

ただ、これだけでは十分ではないため、現在最も大きな負担となっているスカイプラザ

の家賃を軽減するため、新しい活動場所を探す努力をしていきたいと思ひます。

また、寄付金や助成金獲得のための活動を進めるほか、一段の経費節減に努めていかなくてはと考へて居ます。

会員数は、正会員が減少しましたが、これは、2019年度に振替用紙への氏名などの印字ができなかつたため、振り込みに手間がかかつたことが響いているようで、これについては、早急に改善したいと思ひます。

このように、いろいろと課題はありますが、1年間活動できたのは、ひとえに会員のみなさん、そして SPAN を支えていただいている多くの方々のお力によるものと心からお礼申し上げます。

また、ハードウェアのメンテナンスや Web サイトの運用、また事務処理などの地道な活動で会を支えていただいているの方々にも心から感謝いたします。

## 2. 活動報告

2019年度には以下の活動を行いました。

(別紙「2019年度活動実績」参照)

## 3. 会員の状況

2019年12月31日現在の会費納入会員数は以下の通りです。

区分	男	女	計
正会員	49(61)	40(45)	89(106)
賛助会員			48(47)
合計			137(153)

\* ( )内の数字は前年度会員数。

以上